

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	01	ほ場整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	01	ほ場整備事業

実施計画整理番号	
501010101	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	担い手農業経営者及び農業者所有の農地の集団化、耕地の汎用化を図る。	低コスト生産の促進と担い手育成の基盤強化を図るため、大区画の区画整理、排水路の護岸、用水のパイプライン化、暗渠排水施設等の整備を行う。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
関係機関との協議を重ね、平成28年度内の事業完了を目指す。	事業完了の進捗を図るとともに、農地利用集積率が上がるよう支援する。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	141	141	87	183	225	140	0	111	110
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	141	141	87	183	225	140	0	111

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	県営ほ場整備事業【瑞穂地区】負担金	0	111	110	予定箇所については負担金を交付した。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	111	110	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
排水路護岸附帯工事等 一式(42,197千円)に対して、茂原市受益割りにて補助金を交付。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	01	ほ場整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	01	ほ場整備事業

整理番号	
501010101	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
工区内の本体工事は完了し、年度内に清算事務手続きが完了。		・地区内目標集積面積: 33.80ha 国への集積申請面積: 33.18ha			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
B:ほぼ妥当である	将来の農業生産を担う効率かつ安定的な経営体を育成するため、ほ場整備事業において地元負担の軽減を図る。	B:やや有効である	地元工区内の換地計画に基づく清算事務手続きが完了しているが、一部工事が残されているため、改良区の解散が延期される。	B:やや効率的である	農地利用集積率を上げることで、地元への補助金確保が期待できる。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
その他	地元工区内において、共有されているため、特になし。	その他	地元工区内において、共有されているため、特になし。	その他	地元工区内において、共有されているため、特になし。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	個別取組については、予定箇所を実施し目標は達成できた。工区内の換地計画に基づく清算事務手続きは完了しているが、未だ事業(附帯工事)が残されているため、引き続き来年度も、県及び地元(事業主体の大網白里市)と連携を図り、早期完成に向けた取り組みをする必要がある。				
企画政策課での評価とその理由					
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	概ね目標は達成している。今後も早期に向け関係機関と連携を図って行くものとする。				
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
A C T (改 善)	集積面積	地区内の集積面積	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
事業完了の進捗を図るとともに、農地利用集積率が上がるよう支援する。		関係機関との協議を重ね、平成29年度内の事業完了を目指す。	

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	02	農道整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	05	農道整備事業

実施計画整理番号	
501010201	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	農業者及び農道利用者に対して、幹線道路の早期整備と支線道路の舗装改良を推進し、既存農道の適正な維持管理に努める。	農道舗装の実施、及び地元名義で融資を受け実施した農道舗装事業(H8～H12)における返済金の負担。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
受益者補助金の交付及び舗装新設工事の執行率100%を目指す。	・補助金を活用した農道整備の事業進捗を図る。 【農道2路線 延長253m、面積832㎡を予定】	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,436	12,040	12,038	2,414	11,660	11,027	0	3,280	3,121	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	4,500	1,814	0	1,639	1,561
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	3,300	1,300	0	1,200	1,100
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,436	12,040	12,038	2,414	3,860	7,913	0	441	460

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	農道舗装事業受益者補助金の交付	0	0	0	平成27年度で完了。
②	農道の舗装新設	0	3,280	3,121	予定箇所の整備については概ね達成した。今後も引き続き整備を実施し、事業の進捗を図る。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	3,280	3,121	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・農道3路線の舗装工、延長455m、面積1,066㎡を実施した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	02	農道整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	05	農道整備事業

整理番号	
501010201	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	舗装工、延長455m、面積1,066㎡を実施。		舗装進捗率: 44.5% (0.3%上昇)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A: 妥当である	市が関与すべき事業であり、農業者及び農道利用者が安全・安心に利用出来る整備をしている。また、地元からも要望も多い。	A: 有効である	複数の路線要望がある為、現予算では完了するまで、期間を要する。	B: やや効率的である	路線箇所の選択・集中によって、コスト削減を図る。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A: 実現している	事業実施するうえで、地元水利組合(受益農家)等と協議を行っている。	A: 実現している	事業実施するうえで、地元水利組合(受益農家)等と協議を行っている。	B: 実現に向けて取り組んでいる	他事業による、一部地元施工により、補助金交付での対応が可能。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	・舗装工を実施し、予定通り達成した。舗装工事については、国の補助金を活用し実施しているが、近年補助要望額に対し補助額が削減されている為、財源確保に苦慮している。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	農道舗装については、当初の目的を達成している。今後も農道整備の進捗を図るものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	農道舗装延長		舗装率	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
・補助金を活用した農道整備の事業進捗を図る。 【農道2路線 延長253m、面積832㎡を予定】		舗装進捗率: 44.6%		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	用排水施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	03	用排水施設整備事業

実施計画整理番号	
501010301	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
受益農家に対し、湛水被害の解消と維持管理の軽減を図る。また、安定した用水を供給することにより、農業経営の安定を図る。	農業施設の新設及び改修を行う県営事業に対し、事業費負担する。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
・円滑な事業の推進を図るため、千葉県や地元水利組合等と協議を重ねる。 ・ため池等・用排水路整備事業の工事執行率100%。	・県営事業に対する事業負担(かんがい排水事業など) ・ため池の整備(藤木堰・粟生野堰) ・用排水路整備事業(長谷地先他)

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	70,850	71,887	66,292	723,608	737,020	732,243	39,335	356,194	352,320	
財源内訳	国補助	千円	20,500	19,000	18,927	2,000	15,500	5,854	0	26,100	13,176
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	24,700	24,900	22,800	598,900	604,800	595,300	6,300	31,100	9,900
	その他	千円	690	690	645	5,276	1,902	12,218	2,362	6,413	83
	一般財源	千円	24,960	27,297	23,920	117,432	114,818	118,871	30,673	292,581	329,161

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	かんがい排水事業(県営)【新川地区・両総茂原南】	16,613	22,732	20,649	新川地区については事業完了。今後も事業の進捗が図れるよう、県営事業に対し事業負担を行う。
②	かんがい排水事業(国営)【両総地区】	14,822	300,579	300,578	平成28年度内に償還完了。
③	ため池等整備事業	6,300	7,842	7,305	予定箇所の整備については概ね達成した。今後も継続して整備をし、事業の進捗を図る。
④	用排水路整備	0	22,833	21,796	予定箇所の整備については概ね達成した。今後も継続して整備をし、事業の進捗を図る。
⑤	基幹水利施設施設ストックマネジメント	1,600	2,208	1,992	予定箇所の整備については概ね達成した。平成29年度完成に向けて、事業の進捗が図れるよう、県営事業に対し事業負担を行う。
⑥	ため池整備の事業採択に向けた予備調査【市内全域】	0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		39,335	356,194	352,320	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・県営かんがい排水事業負担金(新川地区・両総茂原南地区) ・県営ため池整備事業(藤木堰)負担金
- ・国営かんがい排水事業負担金(両総地区) ・県営基幹水利施設施設ストックマネジメント事業負担金(清水堰)
- ・ため池整備工事(粟生野堰) ・設計書作成業務委託(粟生野堰, 用排水路) ・境界確定測量委託(1箇所)
- ・農業用排水路整備工事(L=112.8m) ・農業用施設改修工事(1箇所)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	用排水施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	03	用排水施設整備事業

整理番号	
501010301	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> 国・県営事業に対して事業負担を行う(国営事業の償還は28年度完了) 2箇所のため池整備実施。 用排水路整備(L=112.8m)の実施。 		国・県営事業の促進を図るため、事業負担の実施。また、ため池及び用排水路の整備実施後、安定した用水供給・農業経営の安定が図れた受益農家数=35戸。	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である	市が関与すべき事業であり、農業者が農業用施設を安全にかつ効率よく利用出来る整備をしている。	A:有効である	湛水被害の解消、維持管理の軽減を図り、安定した用水供給・農業経営の安定を図る。
		B:やや効率的である	県営事業による整備促進及び整備箇所の選択・集中によって、コスト削減を図る。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由	
A:実現している	事業実施するうえで、土地改良区や地元水利組合(受益農家)等と協議を行っている。	A:実現している	事業実施するうえで、土地改良区や地元水利組合(受益農家)等と協議を行っている。
		B:実現に向けて取り組んでいる	他事業での実施が可能か協議検討し、地元管理施設(ため池等)の改修方法など、地元水利組合等と問題の解決に取り組む。
所管による評価とその理由、課題・問題点			
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	個別取組みについては概ね目標は達成できた。課題として国・県の補助金を活用して整備を行うものだが、財政状況が厳しいため、引続き関係機関と協議し、予算確保に努める。		
企画政策課での評価とその理由			
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	かんがい排水事業、ため池整備及び用排水施設整備について当初の計画は達成されていると認められる。今後も財政状況の厳しい中、財源確保に努め、計画を進捗させるものとする。		
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
A	<ul style="list-style-type: none"> 県営事業に対しての事業負担 ため池の整備箇所 用排水路整備事業(整備延長) 	A	県営事業の事業促進。ため池及び用排水路整備の促進を図り、安定した用水供給・農業経営の安定を図る。(受益農家数)
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
A	<ul style="list-style-type: none"> 県営事業に対しての事業負担(かんがい排水事業など) ため池の整備(藤木堰・粟生野堰) 用排水路整備事業(長谷地先他) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な事業推進を図るため、千葉県や地元水利組合等と協議を重ねる。 ため池・用排水路整備事業の工事執行率100%。

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	用排水施設維持管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	06	用排水施設維持管理費

実施計画整理番号	
501010302	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	受益農家に対し、湛水被害の解消と維持管理の軽減を図る。また、安定した用水を供給することにより、農業経営の安定を図る。	農業施設の新設及び改修を行う県営事業に対し、事業費負担する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
地元農家の安定した農業経営と、生活環境の保全を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・農道小用排水補助金交付 (随時) ・排水機場維持管理事業補助金交付 2件 ・千葉県多面的機能支払交付金 22件 ・内谷川沿岸土地改良区補助金交付 1件 ・ため池水位調整管理補助金交付 23件 ・維持管理適正化事業補助金交付 2件 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	7,931	17,370	16,570	7,473	42,102	41,481	7,473	47,715	45,968	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	162	162	0	22,468	22,421	0	27,607	27,377
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	7,931	17,208	16,408	7,473	19,634	19,060	7,473	20,108	18,591

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	農道小用排水補助金の交付	1,789	5,499	5,191	要望箇所については概ね予定のとおり交付した。
②	排水機場維持管理補助金の交付	1,850	2,786	1,817	要望箇所については予定のとおり交付した。
③	千葉県多面的機能支払交付金の交付	2,317	36,811	36,503	要望箇所については概ね予定のとおり交付した。
④	内谷川沿岸土地改良区への補助金の交付	357	367	235	要望箇所については予定のとおり交付した。
⑤	ため池水位調整管理補助金の交付	1,160	920	890	要望箇所については予定のとおり交付した。
⑥	維持管理適正化事業補助金の交付	0	1,332	1,332	要望箇所については予定のとおり交付した。
⑦	水害対策表示看板の設置	0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		7,473	47,715	45,968	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・農道小用排水補助金交付 12件 ・排水機場維持管理事業補助金交付 2件 ・千葉県多面的機能支払交付金 22件 ・内谷川沿岸土地改良区補助金交付 1件 ・ため池水位調整管理補助金交付 23件 ・維持管理適正化事業補助金交付 2件

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	用排水施設維持管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	06	用排水施設維持管理費

整理番号	
501010302	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・年間を通じた施設補修などの要望に対し、補助金交付により概ね地元への支援が行えた。		・地元管理施設について、年間を通じ適正な維持管理を行うことができた。地元補助金交付地区件数=58地区。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市が関与すべき事業であり、地元関係者の負担軽減を図るものである。	B:やや有効である	意図した成果はほぼ得られた。	B:やや効率的である	老朽化施設が増加することから、将来的にコスト増が予想される。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	補助金交付をするうえで、地元水利組合等と事前に協議を行っている。	A:実現している	補助金交付をするうえで、地元水利組合等と事前に協議を行っている。	A:実現している	実施するうえで、地元水利組合等が主体となって行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	個別取組みの成果は概ね達成されたが、老朽化施設が増加することから、将来的にコスト増が予想される。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	要望箇所については、概ね補助金を交付しており、当初の目的は達成されている。今後も引き続き、要望に応じ維持管理するとともに、将来的なコスト負担に対する検討をするものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

A C T (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	地元主体の土地改良事業等に対し、事業費又は維持費の補助を行う。		地元補助金交付地区件数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・農道小用排水補助金交付(随時) ・排水機場維持管理事業補助金交付 2件 ・千葉県多面的機能支払交付金 25件 ・内谷川沿岸土地改良区補助金交付 1件 ・ため池水位調整管理補助金交付 22件 ・維持管理適正化事業補助金交付 2件 		地元農家の安定した農業経営と生活環境の保全を図る。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	湛水防除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	02	湛水防除事業

実施計画整理番号	
501010303	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	排水機場など施設の改修を実施し、湛水被害を未然に防ぎ、安定した農業経営の安定を図る。	県営事業で整備を行うための調査を実施する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
湛水防除事業の事業化に向けた排水基本計画書を作成する。	・排水機場(清水)等調査設計業務	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,000	0	0	0	7,442	7,441	0	4,018	4,018
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,000	0	0	0	7,442	7,441	0	4,018

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	事業採択に向けた予備調査【早野地区】	0	0	0	
②	事業採択に向けた予備調査【清水地区】	0	4,018	4,018	本地区の課題解消を図るため、関係機関と協議の上、新たな事業での実施に向けた現地調査を行ったが、協議に期間を要したため、当初予定の目的が達成されていない。事業採択に向け、引き続き調査を実施していく。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	4,018	4,018	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・排水機場測量 1式 ・排水機場施設機能診断 1式

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	湛水防除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	02	湛水防除事業

整理番号	
501010303	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
本地区の課題解消を図るため、関係機関と協議の上、新たな事業での実施に向けた現地調査を行ったが、協議に期間を要したため、当初予定の目的が達成されていない。		本地区の課題解消を図るため、関係機関と協議の上、新たな事業での実施に向けた現地調査を行ったが、協議に期間を要したため、当初予定の目的が達成されていない。	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である 整備規模からも、市が関与すべき事業であり、県営事業で整備を行うための調査を実施する。	A:有効である 排水機場など施設の改修を実施し、湛水被害を未然に防ぎ、安定した農業経営の安定を図る。	効率性の評価とその理由	
		B:やや効率的である 調査業務は地元(市)で実施するが、県営事業で採択されれば、整備費用については国の補助金を活用でき、地元の負担が軽減される。	
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由	
A:実現している 事業実施するうえで、関係機関や地元水利組合(受益農家)等と協議を行っている。	A:実現している 事業実施するうえで、関係機関や地元水利組合(受益農家)等と協議を行っている。	「協働」の状況とその理由	
		B:実現に向けて取り組んでいる 施設管理が地元である為、事業遂行に向け、地元水利組合等と問題の解決に取り組む。	
所管による評価とその理由、課題・問題点			
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	本地区の課題解消を図るため、関係機関と協議の上、新たな事業での実施に向けた現地調査を行ったが、協議に期間を要したため、当初予定の目的が達成されていない。県事業の採択まで、期間を要する。		
企画政策課での評価とその理由			
C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	今後は、早急に事業化に向けた排水基本計画書の作成を行うものとする。		
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
受益整備(調査)面積		受益農家数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
・排水機場(清水)等調査設計業務		事業化に向け、本地区排水機場の改修を検討する。	

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	02	01	有害鳥獣駆除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業

実施計画整理番号	
501020101	
総合戦略整理番号	12404

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
農作物の被害を食い止めるため、有害鳥獣の駆除を行い、優良農地の確保を図る。	市が依頼した組織の協力のもと、捕獲用の箱檻により有害鳥獣を駆除する。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
イノシシの駆除による農地被害の軽減に努め、優良農地の確保と地域環境の維持・保全を図る。また、アライグマを完全排除し、農作物被害や生活被害の軽減を図る。有害鳥獣の捕獲・殺処分増加に伴い、増大する職員負担の軽減を図る。	民間委託によって民間企業のノウハウを活用した捕獲業務を実施する。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	964	964	841	964	11,836	11,832	964	13,520	13,416
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	481	481	368	481	440	896	481	870
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	483	483	473	483	11,396	10,936	483	12,650

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	報奨金の交付	400	0	0	
②	駆除従事者の支援	564	1,168	1,065	イノシシ捕獲用檻を8基、小動物捕獲機20基を購入し被害多発地区に展開した。今後も、被害減少に努める。
③	箱わな設置によるイノシシの駆除	0	11,341	11,340	民間委託により円滑に業務が遂行できた。イノシシ218頭捕獲した。アライグマ299頭、ハクビシン98頭捕獲した。今後も捕獲強化を図る。
④	アライグマ等の防除	0	0	0	
⑤	野生獣防護柵の設置補助	0	1,011	1,011	補助金を交付することで、被害の防止が出来た。1363aを電気柵で防護した。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		964	13,520	13,416	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

民間委託によって民間企業のノウハウを活用した捕獲業務を実施し、イノシシ、小動物ともに捕獲数を増加させた。これにより農作物や農地被害の軽減につながっており、職員の作業負担も軽減されている。しかしながら、個体数は増加しているようで、生息域の拡大が見られ、新たな地区において被害が発生してきている。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	02	01	有害鳥獣駆除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業

整理番号	
501020101	
総合戦略 整理番号	12404

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	民間委託によって民間企業のノウハウを活用した捕獲業務を実施し、イノシシ、小動物ともに捕獲数が増加した。		農作物や農地被害の軽減につながっている。職員の作業負担も軽減されている。 捕獲数(イノシシ218頭、アライグマ299匹、ハクビシン98匹) わな設置(イノシシ用57基、小動物用35基) 被害面積5.03ヘクタール(わかしお共済調べ)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 個体数が増加し、生息域が拡大していると見られ、新たな地区においても被害が発生してきているため実施は妥当である。		A:有効である 捕獲を実施することで、個体数増加の抑制、農作物や農地の被害を軽減できる。職員の作業負担も軽減できている。		A:効率的である 民間業者のノウハウを活用した捕獲、被害多発地域に重点的に檻、わなを設置し捕獲している。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 檻設置をするうえでは地元自治会や農家組合等と調整をして実施している。		A:実現している 檻設置をするうえでは地元自治会や農家組合等と調整をして実施している。		A:実現している 檻設置、捕獲個体回収時等にはは地元自治会や農家組合等と立会いのもと実施している。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		民間委託によって民間企業のノウハウを活用した捕獲業務を実施し、イノシシ、小動物ともに捕獲数を増加させた。これにより農作物や農地被害の軽減につながっている。職員の作業負担も軽減されている。しかしながら、個体数が増加し、生息域が拡大していると見られ、新たな地区においても被害が発生してきている。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		有害鳥獣の捕獲数の増加したことにより、成果が認められるが、今後も個体数、被害面積も増え続けることが予想されることから、関係機関と協力し、被害の軽減に努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	協議会による捕獲体制の構築、捕獲用檻の増加		捕獲頭数、被害面積の減少	
29年度における事務事業スケジュール			平成29年度における具体的な目標	
協議会が委託した民間団体による捕獲業務を実施する。			有害鳥獣の駆除による農作物、農地被害の軽減に努め、優良農地の確保と地域環境の維持・保全を図る。また、有害鳥獣の捕獲・殺処分の増加に伴う職員の負担軽減を図る。	

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	02	02	農業経営基盤強化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業

実施計画整理番号	
501020201	
総合戦略整理番号	11204

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	農業振興地域整備計画に関する重要事項の協議を行う。 経営感覚の優れた農業者の育成と、経営規模の拡大、収益性の高い施設型農業への転換を支援する。	茂原市農業振興地域整備促進協議会の開催 農業近代化資金利子補給金の交付 農業経営基盤強化資金利子補給補助金の交付
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
農業振興地域整備計画の適切な運用を図る。利子補給を実施して担い手の育成を図る。	農業振興地域整備促進協議会は2回開催して重要事項の協議を行う。利子補給は平成28年度の貸付残高に対して利子補給を実施する。農業経営多角化支援は6次産業化に取り組む農業者1名に対して支援を行う。環境保全型農業直払は化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みと併せて行うカバークロープの作付けにより環境に優しい農業を実践する農業者団体1団体に対して支援を行う。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	538	538	429	502	1,912	1,773	472	4,470	3,759	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	43	43	41	47	37	958	47	2,878	2,449
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	495	495	388	455	1,875	815	425	1,592	1,310

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市農業振興地域整備促進協議会の開催	198	198	117	農業振興地域整備計画の適切な運用のため、協議会を開催し、重要事項の協議を行っている。今後も継続して実施していく。
②	農業近代化資金の利子補給	180	240	173	農業近代化資金借入者への利子補給を実施。今後も継続して実施していく。
③	農業経営基盤強化資金の利子補給	94	70	22	農業経営基盤強化資金借入者への利子補給を実施。今度も継続して実施していく。
④	農業振興地域整備計画業務	0	0	0	
⑤	農業経営多角化支援事業補助金	0	3,183	2,960	6次産業化の支援を実施した。今後も対象者に支援を実施していく。
⑥	環境保全型農業直接支払交付金	0	223	87	化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みにカバークロープを組み合わせた取り組みに支援した。今後も対象者に支援を実施していく。
⑦	機構の集積	0	556	400	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		472	4,470	3,759	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
農業振興地域整備計画の適切な運用のため、協議会を開催し、重要事項の協議を行った。 農業近代化資金借入者及び農業経営基盤強化資金借入者への利子補給を実施した。 農業者の経営多角化による所得向上を図るため、6次産業化の支援を実施した。 化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みにカバークロープを組み合わせた取り組みに支援した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	501020201	
5	01	02	02	農業経営基盤強化促進事業	5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業	総合戦略 整理番号	11204

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況				28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	農業振興地域整備促進協議会を2回開催し、重要事項の協議を行った。担い手への利子補給を実施した。農業経営多角化支援は農業者1名に対して支援を行った。環境保全型農業直払は農業者団体1団体に対して支援を行った。				適切に農振農用地の管理を行うことができた。利子補給により農業者の経営基盤を支えた。農業者1名の6次産業化を確立した。農業者団体1団体の環境に優しい農業の実施ができた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	農用地の保全、担い手の育成支援、農業経営基盤の強化は農業振興の基礎である。	A:有効である	農用地が適切に管理されている。担い手の営農意欲の維持拡大に繋がっている。環境と調和した農業は必要である。	A:効率的である	協議会は関係者の意見聴取ができる。利子補給、6次産業化、環境直払は経営基盤強化が効果的にできる。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	協議会で情報共有を図れる。取組状況を周知することで他の農業者も取組み気運を醸成させる。	A:実現している	協議会は関係者の参加により実施。利子補給、6次産業化、環境直払は農業者自らの取組みを支援するものである。	A:実現している	協議会は関係者の参加により実施。利子補給、6次産業化、環境直払は農業者自らの取組みを支援するものである。		
所管による評価とその理由、課題・問題点								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	農業振興地域整備促進協議会を2回開催して重要事項の協議を行うことができた。利子補給により農業経営を支えることができた。農業経営多角化支援は6次産業化に取り組むことで付加価値のある商品を作り出すものであり農業経営を強くし、所得の向上が図られた。環境保全型農業直払は自然環境の負荷軽減を図る農業の実践を支援することができた。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組により、一定の成果があったものと認められる。今後も農業経営を支援するとともに、新たな担い手の育成を図るものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
(Blank)								
庁議における方針								
(Blank)								

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定				29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	協議会の開催、利子補給者、機構集積				協議会開催日数、利子補給額、集積件数			
29年度における事務事業スケジュール				平成29年度における具体的な目標				
農業振興地域整備促進協議会を開催して重要事項の協議を行う。また、整備計画の全体見直しを実施する。利子補給は、平成29年度の貸付残高に対して利子補給を実施する。農地中間管理機構による集積を推進し、担い手の集積を支援する。				農業振興地域整備計画の全体見直しを実施する。利子補給を実施して担い手の育成を図る。農地中間管理機構による担い手への集積を推進する。				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	03	02	稲作生産効率化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業

実施計画整理番号	501030201
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
農作業の省力化及び良質な米の生産を維持する。	茂原市植物防疫協会が実施する、産業用無人ヘリコプターによる、水稲のいもち病、ウンカ・ヨコバイ類の防除事業を支援する。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
農作業の省力化を図るとともに良質な米の生産を維持する。	水稲病虫害防除は、茂原市植物防疫協会が実施主体となり、実施するにあたっての農家組合長会議を開催する。7月20日～23日に産業用無人ヘリコプターによる農薬散布を市内600.6ヘクタールに実施し、いもち病、ウンカ・ヨコバイ類の防除を行う。その後、負担金の収納事務を実施する。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	802	802	802	802	2,178	2,178	802	2,219	2,219
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	802	802	802	802	2,178	2,178	802	2,219

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市防疫協会の運営支援	70	201	201	事業実施に必要な電算システム委託などの事務経費に対して補助を行った。今後も継続して実施する。
②	水稲広域航空防除の事業支援	732	2,018	2,018	事業実施に必要な農薬代、散布費用、作業手当などの経費に対して補助を行った。今後も継続して実施する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		802	2,219	2,219	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・水稲病虫害防除は、茂原市植物防疫協会が実施主体となり、実施するにあたっての農家組合長会議を開催した。 ・7月20日～23日に産業用無人ヘリコプターによる農薬散布を市内600.6ヘクタールに実施し、いもち病、カメムシ類、ウンカ・ヨコバイ類の防除を行い、良好な結果を得ることができた。 ・負担金の徴収事務を実施した。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	03	02	稲作生産効率化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業

整理番号	
501030201	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	7月20日～23日に産業用無人ヘリコプターによる農薬散布を市内600.6ヘクタールに実施した。		いもち病、カメムシ類、ウンカ・ヨコバイ類の防除は良好な結果を得ることができた。 散布を実施した600.6ヘクタールにおいては病害虫発生による被害は確認されなかった。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	病害虫の発生を防止し良質な米を生産するために、確実性、安全性に配慮して実施している。	A:有効である	病害虫の発生を防止し良質な米を生産できている。	A:効率的である	3日間での一斉防除により効率的に病害虫を防除できている。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	農家には農家組合長を通じて周知、市民には広報やチラシにより周知している。	A:実現している	農家組合長において申込書等の取りまとめ、散布作業の人員動員を実施している。	A:実現している	農家組合長において申込書等の取りまとめ、散布作業の人員動員を実施している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		米の価格が不安定な情勢の中において、良質な米の生産及び収量の確保は重要であり、病害虫を防除することは必須である。共同防除を実施することで、短期間に一斉防除が行えるため効果的・効率的である。また、農業者の作業負担も軽減できる。課題としては、農家が負担する散布料が近隣町村と比較すると高いので、農家の経済的負担を軽減するためには近隣町村と同水準の負担額にすることが望ましい。				
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		航空防除により、病害虫の発生を防止したことから、当初の目的は達成している。今後も航空防除を実施するに当たり、農家負担金の検討をするものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	散布面積		病害虫の発生なく生産した面積	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
茂原市植物防疫協会が実施主体となり、水稻病害虫防除の実施あたって、農家組合長会議を開催する。7月18日～20日に産業用無人ヘリコプターによる農薬散布を市内600.6ヘクタールに実施し、いもち病、カメムシ類、ウンカ・ヨコバイ類の防除を行う。その後、負担金の徴収事務を実施する。		農作業の省力化を図るとともに良質な米の生産を維持する。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	03	03	農業者育成支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	09	農業者育成支援事業

実施計画整理番号	
501030301	
総合戦略整理番号	12401

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	新規就農するにあたり、技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、新規就農者へ給付金の給付を行い、農業経営を安定化させる。	新規就農者へ給付金の給付を行い、就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、新規就農者の増加を図る。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
給付金事業を活用して新規就農者の確保・育成を図り、農業生産者の高齢化、後継者不足を解消する。	農業従事者の高齢化が進むなか、新規就農者の技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、経営が不安定な就農直後5年以内の所得の確保を図るため、3名に対して給付金を支給する。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	4,500	4,500	1,500	6,000	3,000	3,000	6,000	4,500	4,289
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	4,500	4,500	1,500	6,000	3,000	3,000	6,000	4,289
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	新規青年就農者への給付金の支給	6,000	4,500	4,289	3名に青年就農者確保・育成給付金を支給した。引き続き新規青年就農者を支援していく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		6,000	4,500	4,289	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・農業従事者の高齢化が進むなか、新規就農者の技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、経営が不安定な就農直後5年以内の所得の確保を図るため、3名に対して給付金を支給した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	03	03	農業者育成支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	09	農業者育成支援事業

整理番号	
501030301	
総合戦略 整理番号	12401

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
新規就農者3名に対し428万9千円の給付を行った。		新規就農者の経営が不安定な就農直後5年以内の技術の習得や所得の確保を図ることができた。(対象者3名)	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である	新規就農者を定着させるため国の給付金制度に沿った給付を行っている。	A:有効である	新規就農者の経営安定と定着を図るため有効な事業である。
効率性の評価とその理由		「情報の共有」の状況とその理由	
A:効率的である		新規就農者に営農継続に資する情報を提供するとともに、就農状況を現地確認を行うなど逐次把握している。	
「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している		新規就農者に営農継続に資する情報を提供するとともに、就農状況を現地確認を行うなど逐次把握している。	
所管による評価とその理由、課題・問題点			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		農業従事者の高齢化が進むなか、新規就農者の技術の習得や所得の確保が課題となっているなかで、経営が不安定な就農直後5年以内の所得の確保を図るため、3名に対して給付金を支給した。これにより新規就農者の営農継続を支援することができた。課題としては、本市の農業振興を図るためには新規就農者を増やしていかなければならないことから更なる対象者の掘り起こしが必要である。	
企画政策課での評価とその理由			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		新規青年就農者の確保に一定の成果が認められる。今後も新規就農者の確保、育成を図るものとする。	
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

A C T (改 善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
	給付金給付額	給付を受けた新規就農者
	29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標
	農業従事者の高齢化が進むなか、新規就農者の技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、経営が不安定な就農直後5年以内の所得の確保を図るため、3名に対して給付金を支給する。	給付金事業を活用して新規就農者の確保・育成を図り、農業従事者の高齢化、後継者不足を解消する。

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	01	需給調整推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	01	需給調整推進事業

実施計画整理番号	
501040101	
総合戦略整理番号	12401

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
茂原市地域農業再生協議会及び農業者に、需要に応じた米の生産及び水田で転作作物の作付をして食料自給率向上の取組を推進するとともに、需給調整の達成及び農業の経営改善を目指す。	茂原市地域農業再生協議会に需給調整の推進・確認のための事務経費の補助、及び取組を行った農業者には対象となる経費の補助を行う。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
転作作物の作付及び経営所得安定対策加入者の増加による需給調整の達成度向上を目指す。	飼料用米等を作付けする転作の取り組み支援することで飼料用米の生産を拡大する。農家組合と連携して需給調整に関する情報を周知する。県の補助事業によって経営所得安定対策を推進するための農家への周知や現場確認等の事務を適切に実施する。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	4,091	8,462	6,584	4,241	6,865	4,729	4,241	5,759	4,832
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	3,070	7,441	5,579	3,220	4,860	2,787	3,220	4,762
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,021	1,021	1,005	1,021	2,005	1,942	1,021	997

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	転作作物等の作付支援	600	2,240	2,051	飼料用米等を作付けする転作の取り組みが拡大できた。H30から米の需給調整が廃止される予定だが、過剰生産による価格の下落対策等のため、今後も推進する必要がある。
②	地域農業者との連絡調整	926	901	897	農家組合との連携が図れた。今後も、連携を図る必要がある。
③	協議会による経営所得安定対策	2,715	2,618	1,884	経営所得安定対策を推進するための農家への周知や確認事務を適切に実施できた。引き続き実施する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,241	5,759	4,832	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・飼料用米等の転作作物の作付け者に補助金を交付し、拡大することができた。
- ・農家組合と連携して、需給調整に関する情報等の周知ができた。
- ・経営所得安定対策を推進するための農家への周知や確認事務を適切に実施できた。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	01	需給調整推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	01	需給調整推進事業

整理番号	
501040101	
総合戦略 整理番号	12401

<p>28年度活動指標(アウトプット)の達成状況</p> <p>飼料用米等拡大支援のため、パンフレットの配布や集落等への説明会を実施した。農家組合との連携ができた。経営所得安定対策会議の開催はしなかったが、農家組合長会議の開催時に経営所得安定対策の推進をした。</p>	<p>28年度成果指標(アウトカム)の達成状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">飼料用米等拡大支援事業申請件数</td> <td style="text-align: right;">52名</td> </tr> <tr> <td>飼料用米作付面積</td> <td style="text-align: right;">1,310ha</td> </tr> <tr> <td>経営所得安定対策等交付金申請件数</td> <td style="text-align: right;">87件</td> </tr> </table>	飼料用米等拡大支援事業申請件数	52名	飼料用米作付面積	1,310ha	経営所得安定対策等交付金申請件数	87件
飼料用米等拡大支援事業申請件数	52名						
飼料用米作付面積	1,310ha						
経営所得安定対策等交付金申請件数	87件						
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由					
<p>A:妥当である</p> <p>国、県が施策として実施する需要に応じた米生産や経営所得安定対策の推進事業である。</p>	<p>A:有効である</p> <p>農業をとりまく社会経済情勢の変化に応じた支援事業の展開であり有効である。</p>	<p>A:効率的である</p> <p>国が実施する事業であり、市も適切に実施している。</p>					
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由					
<p>A:実現している</p> <p>各種会議や回覧により農家組合との連携を図り情報の共有を図っている。</p>	<p>A:実現している</p> <p>関係機関等からなる茂原市地域農業再生協議会による協議を行っている。需給調整の実施者は農業者である。</p>	<p>A:実現している</p> <p>関係機関等からなる茂原市地域農業再生協議会による協議を行っている。需給調整の実施者は農業者である。</p>					
所管による評価とその理由、課題・問題点							
<p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p>	<p>主食用米の価格安定と食糧自給率の向上を図るためには、米の需給調整は重要な要素であり、飼料用米等の取り組みを支援することで、生産の拡大ができた。農家組合と連携して需給調整等に関する情報を周知することができた。県の補助事業によって経営所得安定対策を推進するための農家への周知や確認事務等を適切に実施できた。飼料用米の作付けが拡大したことで、米価の安定に繋がるかは不透明な部分も多いが、本市の土地質としての転作作物としては飼料用米等の作付けを更に推進する選択肢が有効であると考えられるため、今後も推進するためには上乗せ給付や農業機械導入の補助などを検討しなくてはならない。</p>						
企画政策課での評価とその理由							
<p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p>	<p>飼料用米等を作付けする転作の取り組みが拡大されたことにより、当初の目的は達成されたと認められる。今後も周知や支援に努め、需給調整の拡大を推進するものとする。</p>						
政策調整会議での評価とその理由							
庁議における方針							

<p>29年度活動指標(アウトプット)の設定</p> <p>飼料用米等拡大支援事業の推進、経営所得安定対策等の会議開催</p>	<p>29年度成果指標(アウトカム)の設定</p> <p>飼料用米等拡大支援事業の申請実績、主食用米の作付実績、経営所得安定対策等交付金の交付申請実績</p>
<p>29年度における事務事業スケジュール</p> <p>飼料用米等の転作作物の取り組み者に支援し、生産拡大を図るとともに、農家組合と連携し、需給調整等に関する情報を周知する。また、各種補助事業や経営所得安定対策を推進するため、農家への周知や確認事務等を適切に実施する。</p>	<p>平成29年度における具体的な目標</p> <p>飼料用米等拡大支援事業の申請実績、主食用米の作付実績、経営所得安定対策等交付金の交付申請実績</p>

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	04	園芸農産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	04	園芸農産振興事業

実施計画整理番号	
501040401	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	現在は、ネギを中心とした露地野菜、トマト・キュウリ等の施設野菜が主体であり、各生産組合による共同出荷を推進しているが、近年は高齢化が進み機械の推進や、作業委託等が重要となってきた。これらの取組を支援することにより産地間競争に勝てる産地化を目指す。農業環境の保全と農業の健全な発展を図るため、茂原市廃プラスチック対策協議会による適正な処理を目指す。	産地の育成を図るため、各生産組合および営農集団が行う各種施設および機械導入に対し補助を行う。農業の振興を図るため、農業者が組織する農業関係団体が行う農業振興事業に対し補助を行う。茂原市廃プラスチック対策協議会が実施する廃プラの適正処分に対し補助を行う。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
ネギの省力化機械、生産管理機械を導入し、産地強化を図る。市場シェアの回復を目指す。	4つの園芸団体の産地強化のための機械化の取り組みを支援する。市産業まつりへの出店など園芸振興のための活動を支援する。園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適正な処理を行うことで環境保全と施設園芸などの健全な発展を図る。「ちばの園芸」の生産力を強化拡大することを目的に県の補助事業を活用して2団体の省力機械等の導入を支援する。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	3,040	3,040	2,282	1,095	7,611	6,933	1,095	3,303	3,226	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	2,256	2,256	1,538	123	6,747	6,106	123	2,195	2,139
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	784	784	744	972	864	827	972	1,108	1,087

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	園芸農産特産地の育成支援	700	653	653	園芸団体の機械化等の取り組みを支援した。産地強化のため支援を継続する。
②	茂原市園芸協会の運営支援	130	292	292	園芸振興のための活動を支援した。園芸振興を継続して実施する必要がある。
③	園芸用廃プラスチックの適正処理支援	265	310	270	園芸用廃プラスチックの適正な処理を、県補助事業に基づき実施した。産業廃棄物の適正な処理を継続する。
④	「輝け！ちばの園芸」産地整備支援	0	2,048	2,011	県補助事業を活用して、優良なネギの生産及び花卉の栽培に必要な省力機械等の整備に支援した。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,095	3,303	3,226	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 園芸4団体の産地強化のための機械化の取り組みを支援することができた。 市産業まつりへの出店など園芸振興のための活動を支援することができた。 園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適正な処理を行うことで環境保全と施設園芸などの健全な発展を図ることができた。 園芸農業の生産力を強化拡大することを目的に県の補助事業を活用して省力機械等の導入を支援できた。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	501040401	
5	01	04	04	園芸農産振興事業	5	01	03	04	園芸農産振興事業	総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況				28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	園芸団体の機械化の取り組みを支援した。園芸振興のための活動を支援した。園芸用廃プラスチックの適正処理を行った。県の補助事業を活用して省力機械等の導入を支援した。				施設野菜部会茂原支部、葉たばこ生産組合、茂原野菜出荷組合、本納いちご生産組合の機械化の取り組みに653,000円の補助を実施して産地の強化を図った。市産業まつりは30出店があり、約2,500名の来場があった。園芸用廃プラスチックの適切な処理(9.19トン処理)により環境保全と施設園芸などの健全な発展を図ることができた。省力機械等の導入に2,011,000円の補助を実施して魅力あるちばの園芸の産地強化を図ることができた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	産地強化を図るうえでは機械化等の取り組みは必要不可欠である。	A:有効である	意欲のある園芸生産団体を支援することは農業振興を図るうえでは有効である。	A:効率的である	機械化等の取り組みは効率的な生産を図ることができる。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	理事会、総会、各打ち合わせにより生産者の意見、行政からの情報、園芸情勢の情報を共有している。	A:実現している	理事会、総会、各打ち合わせにより生産者の意見、行政からの情報、園芸情勢の情報を活用して生産に取り組んでいる。	A:実現している	産業まつりの出店など良質な野菜等の生産販売を通じて地産地消の取り組みなど園芸振興を実践している。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	園芸4団体の産地強化のための機械化の取り組みを支援することができた。市産業まつりへの出店など園芸振興のための活動を支援することができた。園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適正な処理を行うことで環境保全と施設園芸などの健全な発展を図ることができた。「ちばの園芸」の生産力を強化拡大することを目的に県の補助事業を活用して省力機械等の導入を支援できた。課題としては、収益性の高い園芸農産の推進のため、常に進化している生産用施設・省力化機械の更なる導入が必要である。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組により、園芸農産の機械化への支援や、園芸用廃プラスチックの回収と適切な処理について当初の目的を達成していると認められる。今後も更なる機械化を推進し園芸農産の発展を検討するものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定				29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	各園芸農産振興事業への補助金の交付				導入された機械等による生産性の向上、廃プラスチックの適正処理			
29年度における事務事業スケジュール				平成29年度における具体的な目標				
園芸3団体の産地強化のための機械化の取り組みを支援する。市産業まつりへの出店など園芸振興のための活動を支援する。園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適正な処理を行うことで環境保全と施設園芸などの健全な発展を図る。「ちばの園芸」の生産力を強化拡大することを目的に県の補助事業を活用して省力機械等の導入を支援する。				生産管理機械、ネギの省力化機械を導入し、産地強化を図る。市場シェアの回復を目指す。				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	06	畜産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業

実施計画整理番号	
501040601	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
家畜生産者の自主的な防疫に関する意識の向上及び畜産経営を安定したものとする。 増加傾向にある耕作放棄地を再生利用し、飼料作物の生産を推進することにより、耕作放棄地の解消並びに高騰する飼料代等のコストを削減し、畜産経営の安定を図る。	防疫事業の一環である予防接種費用に対する補助及び畜産団体の運営に対する支援を行う。 耕作放棄地の再生面積に応じて、自給飼料生産関連機械の購入に対して補助を行う。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
市内畜産農家を支援するとともに、家畜伝染病の発生を未然に防ぐための防疫事業を実施する。	畜産農家に対して、牛アカバネ病、結核病、ブルセラ病、ヨーネ病等の予防接種等を実施して家畜伝染病の発生を防ぐ。また、茂原市酪農組合における共進会の参加などを支援する。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	167	167	164	329	312	308	167	175	175
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	167	167	164	329	312	308	167	175

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	家畜伝染病予防会の支援	87	100	100	牛アカバネ病、結核病、ブルセラ病、ヨーネ病等の予防接種等を実施した。今後も継続して実施する。
②	茂原市酪農組合の支援	33	32	32	家畜排せつ物の管理の適正化、利用促進の振興、長生郡市共進会等の事業に対する支援を実施した。今後も継続して実施する。
③	長生地域畜産振興協議会への参加	47	43	43	長生地域における畜産の情報交換と連絡強化を図り畜産振興のための調査研究を行った。今後も継続し実施する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		167	175	175	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・畜産農家に対して、牛アカバネ病、結核病、ブルセラ病、ヨーネ病等の予防接種等を実施して家畜伝染病の発生を防いだ。
- ・茂原市酪農組合における共進会の参加などを支援して酪農振興を図ることができた。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	06	畜産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業

整理番号	
501040601	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
畜産農家と茂原樟陽高校に対して、牛アカバネ病、3種混合等の予防接種等を実施した。茂原市酪農組合の総会等を開催した。		予防接種等の効果により市内では家畜伝染病の発生は、認められなかった。共進会へは、牛の状況が良くなかったため、出展出来なかった。			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	防疫事業は畜産振興を図る上で必要不可欠な事業である。	A:有効である	予防接種等の実施により確実に家畜伝染病を防ぐ対策をとることができる。	A:効率的である	予防接種等の実施により確実に家畜伝染病を防ぐため効率的である。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	酪農組合内において情報の共有を図っている。	A:実現している	予防接種や共進会は畜産農家や関係機関と連携して実施している。	A:実現している	長生地域における連携強化を図り、畜産振興が実施している。酪農組合との連携を図っている。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	畜産農家に対して、牛アカバネ病、3種混合等の予防接種等を実施して家畜伝染病の発生を防いだ。また、茂原市酪農組合における活動を支援して酪農振興を図ることができた。課題としては、畜産農家の減少に対応するため、畜産振興に資する事業を推進すること、万が一の家畜伝染病(高病原性鳥インフルエンザなど)の発生に備えた防除体制の確立、事業費の確保が挙げられる。				
企画政策課での評価とその理由					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予防接種により、伝染病を未然に防ぐ取り組みに対しての成果は認められる。				
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
A C T (改善)	予防接種等の実施、茂原市酪農組合の会議開催	家畜伝染病の予防、共進会参加などの件数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家に対して、牛アカバネ病、チュウザン病等の3種混合の予防接種を実施して家畜伝染病の発生を防ぐ。 ・茂原市酪農組合における共進会の参加などを支援する。 		市内畜産農家を支援するとともに、家畜伝染病の発生を未然に防ぐための防疫事業を実施する。	

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	08	茂原六斎市再活性化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業

実施計画整理番号	
501040801	
総合戦略整理番号	32104

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原六斎市再活性化協議会が実施する様々な活動やイベント等により、歴史ある茂原六斎市の再活性化を図る。 農業者による新鮮野菜等の新たな販路となることで農業生産を豊かなものにする。	茂原六斎市再活性化協議会の実施する活動を推進するため補助金を交付する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催により六斎市を活性化する。 ・出店者の加入促進をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催会議などを開催し、歴史ある六斎市の活性化を図る。 ・イベントの開催。 ・新規出店者の加入促進。 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円							0	150	150
財源内訳	国補助	千円						0	0	0
	県補助	千円						0	0	0
	市債	千円						0	0	0
	その他	千円						0	0	0
	一般財源	千円						0	150	150

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原六斎市の再活性化	0	150	150	看板の建替え、イベントを開催し活性化が図れた。今後も支援を継続する。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	150	150	

<p>平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板の建替えを実施。 ・関係団体との共催でイベントを開催。 ・広報等に掲載して、出店者を募集。

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	08	茂原六斎市再活性化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業

整理番号	
501040801	
総合戦略 整理番号	32104

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	看板の建替えを実施 イベントを開催した。(2回)		イベント時には出店数が6店増加した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	歴史ある六斎市の衰退に歯止めをかけ、生産者と消費者の交流の場を確保することが出来るため有効である。	A:有効である	生産者と消費者の交流の場を確保することが出来るため有効である。	A:効率的である	再活性化が図れるため、効率的である。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	広報、チラシ等による情報の共有が出来ている。	A:実現している	生産者と消費者(市民等)が直接交流出来ている。	A:実現している	生産者と消費者(市民等)が直接交流し、問題等の解決に取り組んでいる。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	<ul style="list-style-type: none"> 看板の建替えを実施し、関係団体との共催でイベントを開催。生産者と消費者(市民等)の交流が図れた。 広報等に掲載して、出店者を募集し、イベント時の出店数の増加が図られた。 				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	補助金を交付して、イベントを開催したことにより、当初の目的は達成された。今後も、歴史ある六斎市を活性化させるとともに、様々な業種の新規参入を推進するものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						
ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	協議会の活動やイベントを推進する		出店数の増加 にぎわいの増加			
29年度における事務事業スケジュール			平成29年度における具体的な目標			
<ul style="list-style-type: none"> イベント開催会議などを開催し、歴史ある六斎市の活性化を図る。 イベントの開催。 新規出店者の加入促進。 			<ul style="list-style-type: none"> イベントの開催により六斎市を活性化する。 出店者の加入促進をする。 			

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	05	01	農産物直売所運営支援費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費

実施計画整理番号	
501050101	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	地元消費者に新鮮で安全安心な農作物を供給する直売所の充実を図り、直売所に合せた農業者の少量多品目生産の推進による新たな農業経営変革の事業として実施するもので、この事業を行うことにより農業振興を図る。	安定的な農作物の供給を図るため、直売所の適切な維持管理に努める。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して消費者へ安全安心な農作物を供給する。 ・本市の農業の活性化の拠点としての役割を担う。 	用地を借り上げることにより、新鮮で安全安心な農作物を供給する直売所の安定した運営を行う。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	744	744	744	744	744	744	744	744	744	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	686	686	686	686	686	0	686	686	686
	一般財源	千円	58	58	58	58	58	744	58	58	58

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	直売所施設用地の借上	744	744	744	用地を借り上げることにより直売所の安定した運営ができた。今後も地産地消を進め農業振興を図る。
②	農産物直売所運営支援	0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		744	744	744	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・用地を借り上げることにより、新鮮で安全・安心な農作物を消費者に供給する直売所の安定した運営ができ、併せて地産地消の推進も実施できた。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	05	01	農産物直売所運営支援費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費

整理番号	
501050101	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況												
借上げ地 茂原市法目807-1 月額 62,000円 総額 744,000円	直売所の売上げ金額 178,212,965円 来客数 5,239人												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:妥当である 生産者、消費者のニーズとして直売所の設置は必要であり、これにより農業振興が図られる。 </td> <td> A:有効である 新鮮で安全・安心な農産物を供給する直売所の設置は農業振興を図る手段として有効である。 </td> <td> A:効率的である 多数の生産者が加入している直売所を支援することは効率的である。 </td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="text-align: center;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="text-align: center;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> <tr> <td> A:実現している 直売所の運営会議において生産動向や行政情報などの連携を図っている。 </td> <td> A:実現している 直売所だけでなく市の各種イベントにも出店をし、地産地消や農業振興を図っている。 </td> <td> A:実現している 直売所だけでなく市の各種イベントにも出店をし、地産地消や農業振興を図っている。 </td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	A:妥当である 生産者、消費者のニーズとして直売所の設置は必要であり、これにより農業振興が図られる。	A:有効である 新鮮で安全・安心な農産物を供給する直売所の設置は農業振興を図る手段として有効である。	A:効率的である 多数の生産者が加入している直売所を支援することは効率的である。	「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	A:実現している 直売所の運営会議において生産動向や行政情報などの連携を図っている。	A:実現している 直売所だけでなく市の各種イベントにも出店をし、地産地消や農業振興を図っている。	A:実現している 直売所だけでなく市の各種イベントにも出店をし、地産地消や農業振興を図っている。
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由											
A:妥当である 生産者、消費者のニーズとして直売所の設置は必要であり、これにより農業振興が図られる。	A:有効である 新鮮で安全・安心な農産物を供給する直売所の設置は農業振興を図る手段として有効である。	A:効率的である 多数の生産者が加入している直売所を支援することは効率的である。											
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由											
A:実現している 直売所の運営会議において生産動向や行政情報などの連携を図っている。	A:実現している 直売所だけでなく市の各種イベントにも出店をし、地産地消や農業振興を図っている。	A:実現している 直売所だけでなく市の各種イベントにも出店をし、地産地消や農業振興を図っている。											
所管による評価とその理由、課題・問題点													
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 用地を借り上げるにより、新鮮で安全・安心な農作物を供給する直売所の安定した運営ができ、併せて地産地消の推進も実施できた。ただし、施設等が手狭であることから規模を拡大して地域農業の拠点施設となるよう更なる充実を図りたい。													
企画政策課での評価とその理由													
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 消費者に新鮮で安全安心な農産物を提供していることにより、当初の目的は達成しているものと考えられる。今後も6次産業化等、農業の活性化を図るものとする。													
政策調整会議での評価とその理由													
(この欄は斜線が入っています)													
庁議における方針													
(この欄は斜線が入っています)													

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定				
借上げ地代	直売所売上げ、来客数				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">29年度における事務事業スケジュール</th> <th style="width: 50%;">平成29年度における具体的な目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 継続して用地を借り上げるにより、新鮮で安全・安心な農作物を消費者に供給する直売所の安定した運営を行う。 </td> <td> 通年で安全・安心な農産物を消費者に供給する。本市農業の活性化の拠点としての役割を担う。 </td> </tr> </tbody> </table>		29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標	継続して用地を借り上げるにより、新鮮で安全・安心な農作物を消費者に供給する直売所の安定した運営を行う。	通年で安全・安心な農産物を消費者に供給する。本市農業の活性化の拠点としての役割を担う。
29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標				
継続して用地を借り上げるにより、新鮮で安全・安心な農作物を消費者に供給する直売所の安定した運営を行う。	通年で安全・安心な農産物を消費者に供給する。本市農業の活性化の拠点としての役割を担う。				

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	05	01	農産物直売所を起点とした魅力ある農業創出事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	11	農産物直売所を起点とした魅力ある農業創出事業

実施計画整理番号	
501050102	
総合戦略整理番号	12405

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市内農産物の販売、地域の交流、担い手育成の拠点となる施設を形成し、付加価値の高い農産物の栽培、6次産業やブランド化により、生産者の農業所得の向上や活力の向上による、本市農業の活性化を図る。	地産地消や食の安全の確保を推進し、生産者の所得及び活力の向上が図れる農産物直売所の建設
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
平成29年度の事業完成に向けた計画作成及び工程管理。	用地測量業務委託及び地質調査業務委託の発注。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円							0	113,000	0
財源内訳	国補助	千円						0	56,500	0
	県補助	千円						0	0	0
	市債	千円						0	51,000	0
	その他	千円						0	0	0
	一般財源	千円						0	5,500	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	用地測量業務委託料	0	1,000	0	平成29年度事業として繰越
②	地質調査業務委託料	0	3,000	0	平成29年度事業として繰越
③	詳細設計業務委託料	0	14,500	0	平成29年度事業として繰越
④	市場調査・経営方針等調査業務委託料	0	3,000	0	平成29年度事業として繰越
⑤	建築工事監理業務委託料	0	8,500	0	平成29年度事業として繰越
⑥	農産物直売所建築工事	0	75,000	0	平成29年度事業として繰越
⑦	直売所備品購入費	0	8,000	0	平成29年度事業として繰越
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	113,000	0	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

・個別取組み①～⑦は、補正予算の対応であり、要求当初より繰越事業と見込んでいたため、未執行。H29年度で完了させる。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	05	01	農産物直売所を起点とした魅力ある農業創出事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	11	農産物直売所を起点とした魅力ある農業創出事業

整理番号	
501050102	
総合戦略 整理番号	12405

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">妥当性の評価とその理由</p> <p>A:妥当である 直売所の設置により農業振興、活性化が図られる。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">有効性の評価とその理由</p> <p>A:有効である 新鮮で安全・安心な農産物を供給する直売所の設置は、農業振興の観点から有効である。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">効率性の評価とその理由</p> <p>A:効率的である 交付金を活用した直売所建設であり効率的である。</p> </div> </div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">「情報の共有」の状況とその理由</p> <p>A:実現している 既存店舗の消費者等の意見収集</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">「参加」の状況とその理由</p> <p>A:実現している 農業者等の意見収集</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">「協働」の状況とその理由</p> <p>A:実現している 農業者等の意見収集</p> </div> </div>	
<p>所管による評価とその理由、課題・問題点</p> <p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 補正予算での対応であり、繰越事業と見込んでいたため、発注可能な業務委託の契約を行った。</p>	
<p>企画政策課での評価とその理由</p> <p>C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下) 全額平成29年度事業として繰り越したため、来年度末までに完成させるものとする。</p>	
<p>政策調整会議での評価とその理由</p>	
<p>庁議における方針</p>	

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
<p>A 業務委託及び建設工事の発注</p>	<p>業務委託及び建設工事の完了件数</p>
<p>29年度における事務事業スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細設計業務委託の発注 建築工事監理業務委託及び直売所建設工事の発注 直売所備品購入 	<p>平成29年度における具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物直売所の完成

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	02	02	01	企業立地促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	04	企業立地促進事業

実施計画整理番号	
502020101	
総合戦略整理番号	11101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
本市における産業経済の振興、就業機会の拡大及び市民生活の向上に資することを目的として、茂原にいはる工業団地を速やかに分譲し、新たな企業誘致を推進する。	・企業訪問の実施 ・進出企業への企業立地奨励金の交付 ・茂原にいはる工業団地負担金
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
・新たに入手した企業情報による企業誘致活動を実施する。 ・千葉県と連携して茂原にいはる工業団地の整備促進を図る。	・企業訪問 ・(株)ジャパンディスプレイへの奨励金の交付 ・茂原にいはる工業団地負担金(調整池工事、道路工事、雨水排水工事、汚水排水工事、給水工事、公園緑地工事、調整池法面緑化工事)

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	419,410	389,635	386,197	817,049	412,044	407,749	645,439	869,235	651,704	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	72,000	0	0	396,700	91,500	89,700	339,300	516,600	349,600
	その他	千円	0	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	347,410	339,635	336,197	420,349	320,544	318,049	306,139	352,635	302,104

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	企業誘致活動	331	1,135	816	企業訪問や千葉県主催の企業誘致セミナー、展示会N+に参加をし、誘致活動を実施した。引き続き積極的な企業誘致を実施していく。
②	企業立地奨励金の交付	216,060	200,000	200,000	計画通りに奨励金を交付した。引き続き、条例に基づき奨励金を交付していく。
③	茂原にいはる工業団地造成	429,048	668,100	450,888	平成29年度分譲開始に向け概ね計画通りに事業が進められた。引き続き千葉県と連携を図りながら事業の推進を図る。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		645,439	869,235	651,704	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

①大阪、東京、埼玉、茨城及び県内の各企業へ企業訪問を実施した。
 ②(株)ジャパンディスプレイ200,000,000円の奨励金を交付した。
 ③茂原にいはる工業団地負担金 測量調査設計1,528,200円、調整池工・雨水汚水排水工・道路工・緑地工449,360,230円を負担した。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	02	02	01	企業立地促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	04	企業立地促進事業

整理番号	
502020101	
総合戦略 整理番号	11101

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地による奨励金を(株)ジャパンディスプレイに交付した。 茂原にいほる工業団地造成に伴う負担金のうち、測量調査、調整池工、雨水・汚水排水工、道路工、緑地工を負担した。 茂原市の財政基盤の強化、雇用機会の創出、定住人口増加のために、企業訪問し誘致活動を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 雇用の場及び税収の確保が図られた。 茂原にいほる工業団地の平成29年度分譲開始に向けて、順調に整備が進んでいる。 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	本市が千葉県と共同で進めている茂原にいほる工業団地への企業誘致に必要不可欠であり、総合計画においても企業誘致の推進が位置付けられていることから、その実施は妥当である。	A:有効である	企業誘致が成し遂げられることにより、雇用の場の確保と定住人口の増加が図られる。	A:効率的である	企業誘致は、多くの企業と交流を図ることが重要であることから、費用の削減の余地はなく、また、茂原にいほる工業団地の完成と併せて実施することから、時限的な取り組みである。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	ホームページでの公表、広報を用いて事業を周知し、情報の共有を図った。	A:実現している	事業説明会の実施や工事内容に応じて回覧文を自治会等に配布し、意見を取り入れた。	A:実現している	平成29年度の茂原にいほる工業団地の分譲開始に向けて協働に努めた。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	茂原にいほる工業団地の平成29年度分譲開始を見越し、他の自治体との誘致競争に打ち勝つため、千葉県と連携を図りながら事業の推進に取り組む。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	茂原にいほる工業団地は、平成29年度分譲開始に向けて、造成工事等概ね予定通り進捗している。また、既存企業に対する奨励金の交付についても、産業振興及び就業機会の拡大に大いに寄与しているものと考えられる。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> (株)ジャパンディスプレイ200,000,000円の奨励金の交付 茂原にいほる工業団地負担金503,000,000円、長雨による繰越明許分153,594,400円の負担金 企業訪問数 		<ul style="list-style-type: none"> 雇用の場及び税収の確保 茂原にいほる工業団地事業の整備促進 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問 (株)ジャパンディスプレイの奨励金の交付 茂原にいほる工業団地負担金(調査設計、道路工、公園緑地工、調整池法面緑化工、道路案内標識設置工、給水工事、雨水・汚水排水工、調整池工) 		茂原にいほる工業団地の売売に向けて、企業訪問や企業誘致セミナーに参加をし、PRを積極的に行う。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	03	01	02	商店街活性化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	02	商店街活性化推進事業

実施計画整理番号	
503010201	
総合戦略整理番号	12301

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	商店街を活性化させる。	商店街が行う事業に助成を行う。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
商店街が実施する活性化のための事業をサポートするとともに、経済的負担の軽減を図る。	引き続き各商店街へのイベント関連、街路灯の補助を行うことで、賑わいと地域コミュニティの存続を目指す。また、研修等にも積極的に補助を行うことで、商店街関係者の積極性や自主性の確保に努める。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,684	2,684	2,594	2,684	3,537	3,397	2,684	3,537	2,747
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,684	2,684	2,594	2,684	3,537	3,397	2,684	3,537

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	商店街にぎわい推進事業の支援	770	810	580	各商店街のイベント等へ補助を行った。今後も支援を行う。
②	空き店舗の借り上げ料補助	180	295	295	商店街が借り上げた店舗の家賃に対し補助を行い、継続的な事業経営を補助を行った。今後も支援を行う。
③	商工業経営研修講師派遣	100	100	100	商業関係者を対象にセミナーを実施した。今後を実施する。
④	商店街共同施設の維持管理支援	1,634	2,332	1,772	13商店会の街路灯の維持管理費及び商店街の共同駐車場の借地代に対し補助を行った。今後も実施する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,684	3,537	2,747	

<p>平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各商店街(本納サービス会、駅前通り商店街、サンシティ町保商店会、商店会連合会)主催のイベントに対し補助対象経費の補助(1/2)。 ・榎町商店街が借り上げた店舗(2件)の家賃に対し補助対象経費の補助(1/3) ・商業関係者を対象にセミナーを実施した。 ・13商店会の街路灯の維持管理費及び商店街の共同駐車場の借地代に対し補助を行った。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	03	01	02	商店街活性化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	02	商店街活性化推進事業

整理番号	
503010201	
総合戦略 整理番号	12301

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・各商店等の街活性化イベントへの補助 4件 580,000円 ・共同施設の維持管理費への補助 3件 1,772,127円 ・商店街が実施する空き店舗対策事業に対する家賃補助 2件 295,000円 ・商店街活性化のための研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象事業 9件、補助金額 2,647,127円

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	商店街は市民の憩いの場、地域コミュニティとして重要な役割を担っており、商店街の活動支援は妥当である。	B:やや有効である	商店の数が近年減少している状況など商店街を取り巻く環境が大きく変化しているが、財政的支援は必要と考える。	B:やや効率的である	地域に求められる商店街を持続するという観点から、新たな手段を考えるなど継続して実施していく必要がある。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	茂原市商店会連合会を通じて補助事業の周知を図っている。	A:実現している	商店街に加入している商店の店主に対し、意識調査を実施した。	A:実現している	茂原市商店会連合会と連携を図っている。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	各商店街のイベント開催を通じて地域経済の活性化に寄与した。また、商店街の街路灯の施設維持により、夜間でも明るさを確保し、安心安全な商店街を形成した。

企画政策課での評価とその理由	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	商店街への各種取組は商店街の活性化に寄与しており、一定の成果が認められる。今後も支援を継続するとともに、地域住民に親しまれる商店街を目指すものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
補助金の件数及び金額 ・各商店街活性化イベントへの補助 ・商店街が管理する共同施設の維持管理費に対する補助 ・商店街が実施する空き店舗対策事業に対する家賃補助 ・商店街活性化のための研修会の開催	・補助金額及び支出件数

29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標
4月 補助金交付決定 事業終了後随時 補助金の交付 3月 商店街活性化のためのセミナーを実施	商店街が実施する活性化事業を支援するとともに、経済的負担の軽減を図る。

CHECK (評価)

A C T (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	04	01	02	商工会議所支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	03	商工会議所支援事業

実施計画整理番号	
504010201	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	中小企業の経営の近代化を図る。	茂原商工会議所が行う経営指導事業に対し補助金を交付する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
市内商工業の活性化のため、商工会議所の商工振興事業、小規模事業者支援事業に対し補助金を交付する。	茂原市の商工業、小規模事業者の振興のため、商工会議所の事業への補助を継続していく。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	8,174	8,174	8,174	8,174	8,815	8,815	8,174	8,815	8,815
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,174	8,174	8,174	8,174	8,815	8,815	8,174	8,815

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	商工振興事業の支援	6,277	6,277	6,277	商工会議所が行う商工業振興事業の運営を補助し、商工振興を図った。今後も商工業振興のため、補助を継続する。
②	小規模事業所の支援	1,897	2,538	2,538	商工会議所が行う小規模事業者の支援に対し補助し、小規模事業者の振興を図った。今後も小規模事業者の振興のため、補助を継続する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		8,174	8,815	8,815	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所が行う、商工業振興のための事業に対し、補助金を交付した。 ・商工会議所が行う、小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業に対し、補助金を交付した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	04	01	02	商工会議所支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	03	商工会議所支援事業

整理番号	
504010201	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市商工会議所事業補助金 6,277,000円 ・茂原市小規模事業者経営支援事業補助金 2,538,000円 		<ul style="list-style-type: none"> ・商工業振興に関する支援を受けた事業者数 1,265名 ・小規模事業者振興に関する支援を受けた事業者件数 1,770件 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	茂原市の商工業、小規模事業者の振興を図るため、茂原市が関与するのは妥当である。	A:有効である	商工会議所は、茂原市の商工業の経営支援等の専門的な知識を有しているため。	A:効率的である	商工会議所は、茂原市の商工業の経営支援等の専門的な知識を有しているため、商工会議所へ補助することは効率的である。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	補助金交付要綱をホームページで公表している。	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	商工会議所の事業により、市内商工業、小規模事業者の維持・振興が図られている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種補助事業により、商業の振興が図られており、成果があったものと認められる。今後も商工団体の振興を図るものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所が行う商工業振興事業に、商工会議所事業補助金を交付する。 ・商工会議所が行う小規模事業者振興の事業に対し、小規模事業者経営支援事業費補助金を交付する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・商工業振興に関する支援を受けた事業者数 ・小規模事業者振興に関する支援を受けた事業者件数 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
茂原市の商工業、小規模事業者の振興のため、商工会議所の事業への補助を行う。		市内商工業の活性化のため、商工会議所の商工振興事業、小規模事業者経営支援事業に対し補助金を交付する。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	04	01	03	中小企業資金融資事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	01	中小企業資金融資事業

実施計画整理番号	
504010301	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>大企業に比べ資金調達面で多くの不利益を抱えた中小企業が、事業資金の融資を受けられるようにすることで、中小企業の振興と経営の安定化を図る。</p> <p>平成28年度の具体的な目標</p> <p>H26よりも制度融資利用件数を増加させ、利子補給利用者も増加させる。</p>	<p>市内6行12支店の金融機関及び商工組合中央金庫千葉支店に資金を預託し中小企業への資金融資を行う。 茂原市制度融資利用者及び㈱日本政策金融公庫小企業等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。</p> <p>平成28年度スケジュール</p> <p>・4月 各金融機関への預託の実施、3月 預託金の回収。 ・2月 茂原市中小企業融資制度利用者へ利子補給を実施。 ・2月 小規模事業者経営改善資金融資利用者への利子補給を実施。</p>

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	557,629	557,980	547,481	557,629	547,153	545,305	557,629	541,282	539,502	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	515,000	515,000	515,000	515,000	515,000	537,595	515,000	515,000	515,000
	一般財源	千円	42,629	42,980	32,481	42,629	32,153	7,710	42,629	26,282	24,502

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	中小企業資金融資に伴う金融機関預託金	515,000	515,000	515,000	市内金融機関へ融資の原資を預託し、中小企業への融資を行うことで、中小企業の振興と安定を図った。今後も継続する。
②	中小企業融資利用者に対する利子補給	37,045	19,956	18,988	利子補給を行うことで、中小企業の安定した経営、事業の拡大を支援した。今後も継続する。
③	小規模企業等経営改善資金融資利用者に対する利子補給	5,584	6,326	5,514	利子補給を行うことで、小規模事業者の安定した経営を支援した。今後も継続する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		557,629	541,282	539,502	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業融資の原資として、市内金融機関等へ預託を実施した。 ・茂原市中小企業融資利用者に対して、利子補給を行った。 ・小規模事業者経営改善資金融資利用者に対し、利子補給を行った。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	04	01	03	中小企業資金融資事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	01	中小企業資金融資事業

整理番号	
504010301	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内金融機関への預託 500,000,000円 ・中小企業融資制度利用者補助金 22,338,000円 ・小規模事業者経営改善資金融資利用者補助金 5,195,000円 		<ul style="list-style-type: none"> ・制度融資の利用者数 77件 	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である 中小企業は、茂原市の経済、雇用において重要であり、資金確保の面でも、積極的に支援していく必要があるため。	A:有効である 中小企業における資金確保を比較的容易にすることで、振興・安定が図られるため。	効率性の評価とその理由	
		A:効率的である 中小企業の振興、安定した資金調達の確保のため、継続して行っていく必要がある。	
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由	
A:実現している 中小企業融資制度、利子補給についてホームページ、リーフレットで公表している。	C:実現の余地がない	「協働」の状況とその理由	
		C:実現の余地がない	
所管による評価とその理由、課題・問題点			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	中小企業者の安定した資金調達の確保及び、利子補給により、中小企業の振興を図ることができた。		
企画政策課での評価とその理由			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種の取り組みにより、中小企業の安定と振興が図られており、一定の成果が認められる。今後も引き続き、中小企業の資金確保を積極的に支援していくものとする。		
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
・市内金融機関への預託及び、中小企業融資制度利用者、小規模事業者経営改善資金融資利用者へ利子補給を行う(利子補給額)。		・制度融資の利用者数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・4月 各金融機関への預託の実施、3月 預託金の回収。 ・2月 茂原市中小企業融資制度利用者へ利子補給を実施。 ・2月 小規模事業者経営改善資金融資利用者への利子補給を実施。 		中小企業の振興を図るよう、融資制度及び利子補給制度の周知を務める。	

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	04	01	03	中小企業者等振興総合支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	08	中小企業者等振興総合支援事業

実施計画整理番号	
504010302	
総合戦略 整理番号	11201・ 12101

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市内中小企業の振興を図る。	自社の経営を向上させ、問題解決のための取り組みを実施する中小企業者に対し、また市内で新規に創業しようとする方に対して補助金を交付する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
中小企業者、新規創業者を支援するため、補助金交付要綱を策定し、対象事業実施者へ補助金を交付する。	4月 補助金PRのためのパンフレットの作成。 5月 国から「茂原市創業支援事業計画」の認定を受ける。 9月 茂原商工会議所と協力し「茂原創業塾」を開講。 随時 制度の周知を行う。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円				0	6,297	4,297	0	7,859	2,686
財 源 内 訳	国補助	千円			0	4,350	4,297	0	0	0
	県補助	千円			0	0	0	0	0	0
	市債	千円			0	0	0	0	0	0
	その他	千円			0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円				0	1,947	0	0	7,859

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	企業価値の向上に向けた規格等認証取得支援	0	750	0	今年度、補助金利用者0件。支援内容の見直しを視野に検討する。
②	競争力の強化に向けた商品開発や産業財産権取得支援	0	900	0	今年度、補助金利用者0件。支援内容の見直しを視野に検討する。
③	取引環境の向上に向けた企業情報の発信支援	0	3,300	1,283	3社が展示会に出展し、5社がホームページの新規作成を行い自社のPRを実施した。今後も支援を実施する。
④	人材確保・育成支援	0	1,000	95	2社が社員教育のための研修会を実施した。今後も支援を実施する。
⑤	支援制度の広報・周知活動	0	409	408	「茂原市中小企業者向け支援制度のご案内」パンフレット作成した。今後も支援制度の周知に努める。
⑥	起業・創業支援	0	1,500	900	3件市内で新規創業があった。今後も支援を実施する。
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	7,859	2,686	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・「茂原市中小企業者向け支援制度のご案内」パンフレット(3,000部)作成し、商工会議所、市内金融機関を通じて支援制度を周知。 ・支援制度に関する相談等の対応。

D
O
(
実
施
)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	04	01	03	中小企業者等振興総合支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	08	中小企業者等振興総合支援事業

整理番号	
504010302	
総合戦略 整理番号	11201・ 12101

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	中小企業者、新規創業者に対する補助金を交付することで、事業者の経済的な負担を軽減した。		13社に対し、2,278,0000円の支援を実施した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	茂原市の商工業の振興を図るため、茂原市が関与するのは妥当である。	A:有効である	事業者の経済的負担を軽減できる。	A:効率的である	支援対象事業に対しての補助金交付であるため。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	支援制度をホームページ、パンフレットで公表している。	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	支援制度の利用率は低位ではあるが、引き続き、中小企業者等のニーズに応じた支援を行う必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	中小企業及び新規創業者の支援については、様々な支援制度を設けており、有効だが、執行されていない支援については、支援を受けやすい体制を検討すべきである。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金のPR ・茂原商工会議所と連携しての新規創業者の支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・補助金活用件数・金額 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
4月 補助金PRのためのパンフレットの作成。 9月 茂原商工会議所と協力し「茂原創業塾」を開講。 12月 ビジネスプランコンテスト・起業家交流会開催。 随時 制度の周知を行う。		産業振興の活性化のため、経営向上を目指した取組を行う中小企業者、新規創業者に対し補助金を交付する。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	05	01	02	茂原七夕まつり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	04	01	茂原七夕まつり事業

実施計画整理番号	
505010201	
総合戦略整理番号	32101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	関東屈指のまつりである茂原七夕まつりを、全市民的なイベントとして盛り上げ、さらに魅力と活気あるものになるよう努め、本市への経済波及効果を図る。	茂原七夕まつり実行委員会に、補助金を交付する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型イベントの充実を図る。 ・テレビ、ラジオ番組出演等による情報の発信に努める。 ・観光大使によるステージイベントの開催をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原七夕まつり及びもばら冬の七夕まつり開催に伴う、各委員会等の開催。 ・茂原七夕まつり及びもばら冬の七夕まつり開催に伴う、テレビ、ラジオ番組出演等による情報発信。 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	12,000	12,000	12,000	10,000	15,817	15,817	10,000	14,500	14,500
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	12,000	12,000	12,000	10,000	15,817	15,817	10,000	14,500

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原七夕まつりの開催支援	10,000	13,500	14,500	関東屈指の夏まつりとして多くの来場者で賑わった。また、閑散期である2月には冬の七夕まつりを開催した。今後も支援していく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		10,000	13,500	14,500	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原七夕まつりは、七夕飾り設置、もばら阿波おどり、YOSAKOI鳴子おどり、フェスタ21会場でのイベント、市民参加によるイベント等の実施により、期間中810,000人の来場者があった。 ・もばら冬の七夕まつりは、天の川に全長100メートルのイルミネーションを設置、プロジェクトマッピング、手作りPETボトル灯籠イルミネーション、男女ペア歓迎キャンペーン等の実施により、期間中7,000人の来場者があった。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	05	01	02	茂原七夕まつり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	04	01	茂原七夕まつり事業

整理番号	
505010201	
総合戦略 整理番号	32101

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況 茂原七夕まつりのPRは、海ほたるPA、東京駅構内、三井アウトレットパーク木更津、幕張メッセ、新聞各社、チバテレビ出演、ラジオ番組(bayfm、NHK千葉放送局)に出演するなどPRを実施した。第3回もばら冬の七夕まつりについては、市民参加によるイベント(手作りPETボトル灯籠イルミネーション等)を実施した。	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況 期間中の来場者数は、茂原七夕まつりは810,000万人(最終日悪天候)、もばら冬の七夕まつり7,000人であった。天候の影響により、茂原七夕まつりの来場者数は減少したが、もばら冬の七夕まつりの来場者数は増加した。
---	---

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	関東屈指の夏まつりとして、市民参加型のイベントを継続して実施する。	A:有効である	期間中多くの来場者があることから、本市の活性化には有効である。	B:やや効率的である	開催するにあたり、市補助金及び市内企業からの協賛金で実施しており、補助金の増額要望がある。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	ホームページ、広報、情報誌掲載、ポスター及びうちわの配布、テレビ及びラジオ番組出演等により情報発信を実施。	B:実現に向けて取り組んでいる	茂原七夕まつり実行委員会を開催し、市民からの意見を取り入れている。	B:実現に向けて取り組んでいる	問題の解決に向けて茂原七夕まつり実行委員会を開催している。

C H E C K (評 価)	所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 市民まつりとして、情緒豊かな飾りや躍動する踊りなど、創作・創造的な活動を実施し観光客の集客に努める。
---	--

C H E C K (評 価)	企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 市最大のイベントとして、多くの来場者があったことから、成果は認められる。今後も市民参加のイベント等、魅力ある七夕まつりとし、情報発信を図るものとする。
---	--

C H E C K (評 価)	政策調整会議での評価とその理由 (This section is currently blank in the image)
---	--

C H E C K (評 価)	庁議における方針 (This section is currently blank in the image)
---	---

29年度活動指標(アウトプット)の設定 次の各PR回数及び配布枚数 ・テレビ番組出演 ・ラジオ番組出演 ・イベント出演 ・チラシ・ポスター配布 ・うちわ配布	29年度成果指標(アウトカム)の設定 各イベント来場者数
---	--

29年度における事務事業スケジュール ・茂原七夕まつり及びもばら冬の七夕まつり開催に伴う各委員会等の開催。 ・茂原七夕まつり及びもばら冬の七夕まつり開催に伴うテレビ、ラジオ番組出演、新聞各社への情報発信。	平成29年度における具体的な目標 市民参加によるイベントの充実を図り、来場者数を増加させる。
---	--

A
C
T
(
改
善
)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	05	02	01	観光振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	04	02	観光振興事業

実施計画整理番号	
505020101	
総合戦略整理番号	32101・32102・32302

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原市観光協会、茂原秋まつり運営協議会の強化育成、また観光ガイドブックを作成し、茂原市の観光推進を図る。	茂原市観光協会、茂原秋まつり運営協議会への補助金の交付。茂原観光ガイドブックの作成。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 茂原桜まつり及び茂原秋まつりの周知活動を実施する。 長生地域観光連盟等と連携し、新規事業を実施する。 観光ガイドブックを作製し、本市の魅力を発信する。 	茂原桜まつりの開催(4月)、茂原七夕まつりの開催(7月)、茂原秋まつり(9月)、もばら冬の七夕まつり(2月)、三井アウトレットパーク木更津観光PRイベントの開催(10月、3月)、野呂パーキングエリア交通安全キャンペーンイベントの参加、ぐるっと長生フェスタ2017(3月)等の実施をする。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,348	3,699	3,699	5,918	4,330	4,079	5,918	4,097	4,023
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,348	3,699	3,699	5,918	4,330	4,079	5,918	4,097

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市観光協会の支援	2,000	2,000	2,000	桜まつり及び七夕まつりでイベント等を実施した。今後も継続して支援する。
②	茂原秋まつりの支援	520	600	600	秋のイベントとして定着しており、近年は多くの集客があることから、今後も継続して支援する。
③	各種団体との広域連携	398	396	393	長生地域観光連盟や中房総観光推進ネットワーク協議会と連携し、今後も継続して各種PRイベントを開催する。
④	観光物産大会の開催支援	0	0	0	
⑤	民間活力を活かした観光資源の創出	3,000	0	0	
⑥	観光大使を活用した茂原市のPR	0	257	256	茂原市観光大使により、今後もテレビ番組等を活用し、本市のPR活動を実施する。
⑦	観光ガイドブックの発行	0	756	753	茂原市観光ガイドブックを作製し、海ほたるパーキングエリアや三井アウトレットパーク木更津等へ設置し、今後も継続して本市の魅力を発信していく。
⑧	広域観光連携の推進	0	88	21	今後も継続して長生地域観光連盟等と観光連携を推進していく。
⑨	公衆無線LANの整備	0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		5,918	4,097	4,023	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 県民の日の地域事業として、白子町においてイベント開催の支援をした。 七夕まつり等イベント開催前には、海ほたるパーキングエリアや三井アウトレット木更津において、チラシの配布、パネルの展示等を行い周知活動をした。 観光ガイドブックを作製し、海ほたるパーキングエリア、三井アウトレットパーク木更津(チーバくんプラザ)等に設置し、本市の魅力を発信した。

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	05	02	01	観光振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	04	02	観光振興事業

整理番号	
505020101	
総合戦略 整理番号	32101・ 32102・ 32302

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
観光ガイドブックを15,000部作製し、商業施設やイベントで配布した。メディアの活用については、テレビ番組出演2回、ラジオ番組出演3回、ホームページ・SNS・新聞は随時活用し、本市の魅力を発信した。観光大使については、茂原七夕まつり、茂原桜まつり等、合計8回出演した。	来場者数は、茂原桜まつり130,000人、茂原七夕まつり810,000人(最終日悪天候)、茂原秋まつり1,200人、もばら冬の七夕まつり7,000人の来場者があった。茂原七夕まつりは、悪天候の影響を受け来場者数が減少したが、その他イベントは増加した。						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:妥当である さまざまな観光事業を展開しており、四季を通して集客のあるイベントを実施する。 </td> <td> A:有効である 観光協会が実施する各種イベント事業は集客力があり、テレビや新聞などのメディアを最大限に活用し実施する。 </td> <td> A:効率的である 観光事業を実施するうえで、観光協会や広域観光連携は欠かせない為、今後も支援が必要である。 </td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	A:妥当である さまざまな観光事業を展開しており、四季を通して集客のあるイベントを実施する。	A:有効である 観光協会が実施する各種イベント事業は集客力があり、テレビや新聞などのメディアを最大限に活用し実施する。	A:効率的である 観光事業を実施するうえで、観光協会や広域観光連携は欠かせない為、今後も支援が必要である。
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由					
A:妥当である さまざまな観光事業を展開しており、四季を通して集客のあるイベントを実施する。	A:有効である 観光協会が実施する各種イベント事業は集客力があり、テレビや新聞などのメディアを最大限に活用し実施する。	A:効率的である 観光事業を実施するうえで、観光協会や広域観光連携は欠かせない為、今後も支援が必要である。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:実現している ホームページ公表、広報、情報誌掲載、ポスター配布、イベントでのPR等により情報発信を実施。 </td> <td> B:実現に向けて取り組んでいる 各イベント委員会を開催し、市民からの意見を取り入れている。 </td> <td> B:実現に向けて取り組んでいる 問題解決に向けて、各イベント委員会を開催している。 </td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	A:実現している ホームページ公表、広報、情報誌掲載、ポスター配布、イベントでのPR等により情報発信を実施。	B:実現に向けて取り組んでいる 各イベント委員会を開催し、市民からの意見を取り入れている。	B:実現に向けて取り組んでいる 問題解決に向けて、各イベント委員会を開催している。
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由					
A:実現している ホームページ公表、広報、情報誌掲載、ポスター配布、イベントでのPR等により情報発信を実施。	B:実現に向けて取り組んでいる 各イベント委員会を開催し、市民からの意見を取り入れている。	B:実現に向けて取り組んでいる 問題解決に向けて、各イベント委員会を開催している。					
所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) いずれの取り組みも、本市の観光振興という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、関係団体との連携を深める必要がある。							
企画政策課での評価とその理由							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 各種イベントの来場者は増加しており、取り組みの効果が表れたと思われる。今後も、関係団体と連携し、観光振興に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由							
庁議における方針							

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
・観光ガイドブック配布数 ・各種メディア活用件数 ・観光大使出演回数	各イベント来場者数
29年度における事務事業スケジュール 茂原桜まつり(4月)、茂原七夕まつり(7月)、茂原秋まつり(9月)、もばら冬の七夕まつり(2月)、三井アウトレットパーク木更津観光PRイベント(10月、3月)、ぐるっと長生フェスタ2018(3月)、野呂パーキングエリア交通安全キャンペーンイベント(7月)等の実施をする。また、各イベント委員会や担当者会議を定期的を開催する。	平成29年度における具体的な目標 茂原市公式WEBサイト、茂原市観光協会ホームページ、観光ガイドブック等の内容を見直し、新たな本市の魅力発信に努める。

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	07	01	02	労政対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	01	02	労政対策事業

実施計画整理番号	
507010201	
総合戦略 整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
P L A N (計 画) 勤労者の福祉の充実を図る。	勤労者のための各種福祉対策事業を実施している長生茂原地区労働者福祉協議会に、補助金を交付する。 中央労働金庫茂原支店に預託することで、低金利で生活資金を円滑に融資させる。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
勤労者の福祉の充実を図るため、中央労働金庫へ預託を実行するとともに、長生茂原地区労働者福祉協議会の活動に補助金を交付する。	・3月長生茂原地区労働者福祉協議会へ補助を行う。 ・4月中央労働金庫茂原支店への預託を実施する。3月預託金を回収する。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費		千円	10,100	10,100	10,100	10,100	10,148	10,148	10,100	10,148	10,148
財 源 内 訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	一般財源	千円	100	100	100	100	148	148	100	148	148

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	長生茂原地区労働者福祉協議会の支援	100	148	148	勤労者の福祉事業を通じて、勤労者の余暇の活用・生活の充実を図り、また、勤労者相互の親睦融和を図った。
②	厚生資金融資のための金融機関預託金	10,000	10,000	10,000	中央労金への預託により、低金利で、生活資金の融資を行い、勤労者の福祉の充実を図った。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		10,100	10,148	10,148	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・長生茂原地区労働者福祉協議が勤労者の福祉増進のため実施する福祉対策事業に、補助金を交付した。 ・中央労働金庫茂原支店へ、貸付原資となる資金を預託した。

D
O
(
実
施
)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	07	01	02	労政対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	01	02	労政対策事業

整理番号	
507010201	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
・補助金額 148,000円 ・預託金額 10,000,000円		・福祉事業への参加者数 延べ78名 ・融資制度の利用人数 292件	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である 預託について、茂原市が原資を負担することは妥当である。	A:有効である 勤労者相互の親睦を深めることで、効率の向上が図られ、生活資金融資を低金利とすることで、福祉が充実が図られる。	効率性の評価とその理由	
		A:効率的である 勤労者相互間の関係性が希薄になる現在において、労働者の連帯が図られる。	
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由	
A:実現している 中央労働金庫茂原支店を通じて融資制度を周知。	A:実現している 長生茂原地区労働者福祉協議会の活動支援。	「協働」の状況とその理由	
		C:実現の余地がない	
所管による評価とその理由、課題・問題点			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	労働者の福祉事業(レクリエーション等)を通じて、勤労者の余暇の活用・生活の充実が図られ、勤労者相互間の親睦が深まった。さらに、中央労金への預託金を通じて、勤労者への生活費融資が積極的に行われている。		
企画政策課での評価とその理由			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	融資制度の利用者数が増加しており、勤労者の融資制度に対して一定の成果があったものと認められる。今後も勤労者が利用しやすい融資が受けられるよう、関係機関と連携し、PRに努めるものとする。		
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
・補助金額 ・預託金額		・福祉事業への参加者数 ・融資制度の利用人数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
・3月長生茂原地区労働者福祉協議会へ補助を行う。 ・4月中央労働金庫茂原支店への預託を実施する。3月預託金を回収する。		勤労者の福祉の充実を図るため、中央労働金庫へ預託を実行するとともに、長生茂原地区労働者福祉協議会の活動に補助金を交付する。	

CHECK (評価)

ACT (改善)